

S+i

SAKURA innovation



櫻丘広報

SAKURAGAOKA-NEWSLETTER

CONTENTS

入学式	1
新入生校外教育	2
新任の挨拶	2
櫻高祭	3
体育大会	5
英語学研修	7
ニュージーランド中期留学	9
高大連携教育	10
キャリア教育	11
部活動報告	12
櫻丘ニュース	13
行事予定	15



No. 216
2025.1

日本大学櫻丘高等学校



Entrance Ceremony

日程:令和6年4月6日(土) 場所:百周年記念館



入学式



4月6日(土)、日本大学桜丘高等学校入学式が挙行されました。

今年度は満開の櫻に囲まれ、多くのご家族の方の祝福のなか、新入生を迎えることができました。入学式では、大木学校長や岡文学部長からお祝いの言葉が贈られ、生徒会長からも歓迎の言葉が述べられました。また、新入生代表挨拶では堂々とした姿勢でこれからの学校生活への意気込みが語られ、新入生の頼もしい姿を見ることができました。各クラスではこれからの本校でのスクールライフに胸を躍らせている様子が見られ、今後に繋がる良いスタートとなりました。



Guidance

日程:令和6年4月10日(水)から12日(金)



新入生校外教育



4月10日(水)～12日(金)、富士緑の休暇村にて、2泊3日の新入生校外教育が行われました。

新入生はこの3日間を通じて、本校での生活を送るうえで大切にして欲しいことや、櫻イノベーションをはじめとする本校独自の教育の取り組みに関する話など、様々なことを学びました。また、クラスミーティングではクラス内の役割決めや自己紹介などが行われました。他にもレクリエーションなどを通して、クラスの仲は一気に深まりました。新入生は高校生としての自覚が芽生え、これからの学校生活が一層楽しみになった様子でした。



Teachers

新しい先生のご挨拶



山口 海人 先生

今年度、常勤講師として採用いただきました山口海人と申します。教科は数学科で部活動は男子サッカー部と演劇部を担当いたします。授業やクラス活動、学校行事などの教育活動全体を通して慣れないことも多々ありますが、生徒の皆さんや周りの先生方に助けられながら日々過ごしております。様々な新しい学びや発見、先生方からご指導いただいたことを踏まえても、まだまだ経験も技術も何事も不足していると感じる中で、生徒たちと共に成長できるよう精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

人事



School Festival

日程: 令和6年6月22日(土)・23日(日)

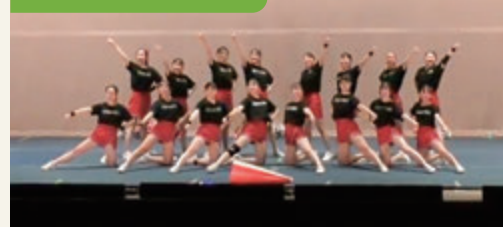
場所: 日本大学豊丘高等学校校舎・日本大学文理学部百周年記念館

櫻高祭!



今年度の文化祭は、昨年度から引き続き新型コロナウイルスに関する制限なしでの開催となりました。2日目は雨が降ってしまったため特に屋外で活動する3年生に影響が出てしまいましたが、さすがが最高学年。臨機応変な対応で、急遽校内へ移動して模擬店の営業をすることができました。多くの来場者の方にも楽しい時間を過ごしていただくことができ、生徒たちにとって大変思い出に残るイベントとなりました。

部活動公演・企画・展示



アトリウム



お見送り



クラスや出演する部活動のメンバーはもちろんですが、裏方として働いてくれた文化祭実行委員や中央委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。櫻高祭はさまざまな企画が用意されているため、その周知や運営など苦勞することも多くあったと思います。実は櫻丘高校には櫻高祭後、そんな委員の皆さんを労うために、下校時に先生方でお見送りをする文化があります。皆さん本当にお疲れさまでした!



Sports Day

日程:令和6年11月13日(水) 場所:武蔵野の森総合スポーツプラザ



体育大会



11月13日(水)、武蔵野の森総合スポーツプラザにて体育大会が開催されました! 今年度は昨年度に引き続き大きな体育館での実施となり、非常に盛り上がった体育大会となりました。

学年種目(1年生:4WD、2年生:いかだ流し、3年生:大縄跳び)だけでなく、クラス内で選抜された生徒によるリレーや、部活動対抗リレー(パフォーマンス部門・ガチ部門)等も行われ、自分のクラス・学年以外で活躍している生徒に対しても大きな声援が飛び交っており、体育館内の一体感を感じることができました。さらに、各団の団長・副団長のマイクパフォーマンスや、教員対抗の玉入れも行われ、一層熱気が高まりました。

今年度も、中央委員や体育大会実行委員生徒の事前準備の成果により、思い出に残る素晴らしい体育大会となりました。





Local Study Programs

日程:令和6年7月15日(月)から30日(火) 場所:イギリス



英国語学研修



7月15日(月)～30日(火)の約2週間、イギリス・コッツウォルズ地方にて英国語学研修を実施しました。1、2年生を対象に67名が参加し、最大規模での実施となりました。櫻イノベーションの柱の1つ「グローバル教育」の一環であるこの研修は、2週間という短い間ではありましたが、ホームステイ、現地の学生との交流、イギリス文化の観光を通じて多様な価値観に触れることができました。初めのうちは慣れない土地で意思疎通がうまくいかず戸惑う様子も見られましたが、日々の授業での取り組みを活かし、積極的にチャレンジすることで英語力・コミュニケーションスキルの向上につながりました。また、研修中はイギリスの様々な観光地を訪れ、異文化を理解する貴重な経験をすることもできました。イギリスで得た経験を活かし、これからの将来につなげていってほしいと思います。



Local Study Programs 感想

「有意義な研修で得たもの」

2年 上野 みお

初の外国、初のホームステイ、初めて出会う人、沢山の初めての事に不安を抱えて飛行機に乗った。しかし、到着してから二週間はあっという間に終わった。今考えてみれば、沢山の友人や先生や現地の人々、自分の知らない歴史や文化、イギリスならではのマナー、食事、生活習慣など、毎日が輝かしいほどに新鮮な物事で溢れていた。この研修を通じて得たものを一つ挙げるとしたら、多様性への理解だ。時間や食事など様々な違いを目の当たりにした。無論日本でも多様性を感じる場面は多々あるが、異国の地ではより感じる機会が増えた。例えば、日本ではタトゥーをしていると温泉に入れなかったり、怖いというイメージの人が多いが、英国では当然のように多くの大人がタトゥーをしていた。また、犬にリードを付けずに散歩するなど、様々な違いが存在していたが、沢山の違いにはそれぞれイギリス人ならではの考え方があった。日本で生まれ育った

私とは全く違う思考をもっていることにとても興味があった。ホームステイを始めた頃は様々な違いに戸惑い、驚くことが多かったが、過ごしていくうちに、この生活の仕方も良いなとか、確かにその考えも良いかもなどと思えるようになった。イギリスにはイギリスの、日本には日本の、その他の国にはその国の、それぞれに沢山の良い所があることに気付かされた。日本にいると日本人の価値観しか分からない。だからこそ海外というのは面白く、色々な国に行きたくなるのだらうと思う。私自身、もっと色々な国に行ってみたくて強く思った。それと同時に多様性を今まで以上に大事にしようと思った。この研修で、リーダーの仕事や、様々な違いに戸惑うこともあったが、楽しい思い出や大事な気付きを得るチャンスくれた両親や祖父母、友人や先生やホストファミリーへの感謝の気持ちを忘れずにこの経験を今後の生活にいかしていきたい。

「語学研修を通じて」

1年 上原 珠緒

この語学研修は様々な文化や人と触れ合うとともに自分の英語力がどれ程のものなのかを知ることができ、この上なく幸せな二週間でした。私がこの留学を通して学んだことは二つあります。一つ目は気持ちの持ち方です。現地の先生もホストファミリーも常に前向きで、英語で上手に喋れなくても、「大丈夫」と声をかけて助けてくれました。すぐに助け船を出してくれるところに、とても優しさを感じました。また普段見ているはずの景観や植物、英国人に対しても「綺麗」や「美しい」などの素直な表現で、思ったことを共有してくれます。私にとっては少し恥ずかしくて言葉にしにくいと思うことを、彼女らは素直にはっきりと言葉にして伝えます。その姿勢にとても感動しました。

二つ目は英語の大切さです。この留学は、小学五年生から始めた英会話の実力を試す機会となりました。初めて日本を出て現地の人と話しましたが、最初は現地の人のフレンドリーさに戸

惑い、引っ込みがちでした。しかし、思いきり話して、分からないことはたくさん聞いて、吸収して、この二週間を通じて自分も成長を感じられるくらい頑張る、という意気込みでエンジンをかけました。すると、相手の言いたいことを読み取って、それに対する自分の意見を英語の授業や、英国人学生との会話の中で伝えることができるようになりました。また、ホストファミリーのジョークまで理解して反応出来るようになり、コミュニケーションの機会を増やせました。英語を学んでいなければ聞けなかったような意見も、人や物に対する考え方もたくさん吸収することができ、濃い二週間となりました。

これらのことを踏まえて、私は学んだことを忘れずに今後の英語学習に繋げていきます。また、自分ともきちんと向き合って、今回得た人や物への捉え方を大切にします。そしてもう一度イギリスへ行って、ホストファミリーに「ただいま」と言いたいです。



Local Study Programs

日程:令和6年7月11日(木)~9月28日(土) 場所:ニュージーランド オークランド



ニュージーランド中期留学



7月11日から9月28日にかけて、ニュージーランドでの中期留学が行われ、14名(1年生6名、2年生8名)の生徒が参加しました。中期留学は、ニュージーランド北島の北部に位置するオークランド周辺で行われました。オークランドは暖かく陽気な気候で国際色豊かな街。多様性に富んだ賑やかな都市でありながら、自然を身近に感じることのできる場所でもあります。

留学中は現地校が選定したホストファミリーにお世話になり、日本との文化の違いやファミリーの優しさを存分に感じたようです。また、オークランド近郊の学校に編入して現地の高校生と一緒に授業を受けたり課外活動に参加したりしながら、生徒たちはたくさんの刺激を受け、大変貴重な経験をしてきた様子でした。

※現1年生は、次年度の中期留学にも参加することができます。多くの皆さんの参加を楽しみにしています！

Local Study Programs 感想

「世界を見る目」

2年 小林 怜矢

私は、3カ月間のニュージーランド中期留学を通じて、多くの学びや気づきを得ることができました。そして、人間として大きく成長する経験になったと感じています。

私はもともと英語が得意というわけではなかったのですが、日本を離れて外国に赴き、貴重な経験を積むことができることに大きな魅力を感じ、留学への参加を決めました。留学が始まったばかりの頃は、現地での生活に慣れることができず、文化や言語も異なる地で過ごすことは大きな苦労もありました。また、ホストファミリーとのコミュニケーションも思うように続かず、不安な日々を過ごしていました。

しかし、現地校での授業が始まり、現地の学生や様々な国から来た留学生と交流する機会が増えると、少しずつ自分の意識が変化していったことを実感しました。私が通っていた学校には、アジアやヨーロッパ、ラテンアメリカなど世界中の学生が集まっていました。そうした環境に身を置き、世界には様々な人種の方がいて、それぞれが

異なる文化を持っていることを理解することで、自分の視野を大きく広げることができたからだと思います。また、授業では、自分でプレゼンテーションをしたり、議題に対して討論をしたりするなど、自己表現力を必要とすることが多く、最初はとても大変でしたが、日々の経験を重ねるにつれて、現地の授業を楽しむ事ができるようになったことも大きな自信につながりました。

私はこの留学中、日本とは異なる文化に触れるたびに、驚き、好奇心を刺激され、それと同時に今までの自分の視野の狭さを痛感しました。今回の経験を通じて、世界はとても広く、自分の想像を遥かに超える人々がいて、その一人ひとりが異なる文化を持っていることを知ることができました。これからも、世界中の様々な文化に触れることは自分を大きく成長させてくれると思います。そのためにも、私は英語をさらに深く学び、自らの視野を広げていきたいと考えています。

この貴重な経験をさせてくれた両親や先生方、またホストファミリーやスタッフの方など、この留学に携わってくださったすべての方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。



Cooperation

高大連携教育



1年学部訪問 芸術学部

日本大学は16学部86学科という多くの学問分野を持った総合大学です。本校ではそうした日本大学のスケールメリットをフル活用して、生徒たちのキャリア観を育てる取り組みを積極的に行っています。高大連携教育を通じて、普段はなかなか知ることのできない大学のキャンパスの雰囲気や高校との授業の違いを肌で感じることで、進路観を養うことにつながります。生徒たちにとって、自身の将来を考える良い機会になりました。

日本大学進学相談会



7月16日(火)、17日(水)の2日間、本校にて日本大学進学相談会を開催しました。この相談会は日本大学の各学部から担当の方をお招きし、本校にいなが様々な学部について相談することができる機会です。

当日は、全学年三者面談中ということもあり、相談会は大盛況。多くの生徒・保護者の方々が参加されました。

第1学年学部訪問

7月18日(木)に1年生を対象とした学部訪問会を実施しました。生徒たちは自身が希望する学部を選び、本校教員の引率のもと、各学部へ足を運びました。

訪問先では、キャンパス内の見学ツアーだけでなく、学部の特色に関する説明や、簡単な講義も実施していただきました。生徒たちは、普段なかなか感じることのできない大学の雰囲気を肌で感じ、将来の進路に対する考えを深める大変貴重な機会となったようです。



出張講義(第2学年…7月18日(木)、第1学年…10月3日(木))



出張講義は、主に日本大学の様々な学科の先生をお招きし、自身の興味のある学問を専門とする先生のお話を受講することができる機会です。実際の講義は、実験やグループワークなども織り交ぜながら展開され、生徒たちは真剣な姿勢で取り組むことができていました。本格的な大学の授業を受講することができ、生徒たちにとって大きな刺激になったようです。

第1学年文理学部講演会

11月9日(土)、第1学年の生徒を対象に文理学部生講演会を実施しました。今回の講演会は、各学科の様々な学問領域を知ること、進路観を広げることを目的としています。講演会でははじめに、文理学部情報科学科の大澤正彦准教授より、情報科学科の学生の方と共に、「情報科学」とは何かをテーマに自身の研究内容を踏まえたお話をいただきました。続いて、次世代社会研究センター(RINGS)に所属する大学生や大学院生、卒業生の方から様々なテーマでの講演をいただきました。大変貴重なお話を聞くことができ、文理コース選択が間もなく迫っている生徒たちにとって、自分の進路を考える良い刺激となったようです。





Career Counseling

キャリア教育



進路だより

第3学年 進路説明会

文理学部百周年記念館にて3年生を対象にした進路説明会を行いました。日本大学進学や指定校推薦による他大学進学を目指す生徒には、大山進路指導部主任より日本大学の推薦制度や指定校推薦の流れについて説明がありました。基礎学力到達度テストを間近に控え、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

総合型選抜や一般選抜で他大学進学を目指す生徒には、駿台講師の方による一般入試の流れの説明会が実施されました。

現在の多岐にわたる入試制度に関する説明を聞き、入試に向けてより一層気持ちを引き締めている様子でした。



第2学年探究学習

第2学年では探究学習として、関心のある地域を班ごとに設定し、地域ごとの様々な課題に対する解決策を考える取り組みを行っています。それぞれの課題を「産官学連携」の観点から解決策を考えます。身近に感じる問題点を自分事と捉え、産・官・学のそれぞれの立場から課題と対峙することで、今まで見えなかった思考や解決策を知ることができました。各班で作成した内容のプレゼンテーションを行うことで、クラス全体で地域や社会問題について考える良い機会となりました。



社会人講演

10月19日(土)、高校2年生Sクラスを対象に「社会人講演会」を行いました。

本校及び日本大学文理学部の卒業生である、《山越もえさん》《小林知之さん》をお招きし、講演をいただきました。

山越さんはベトナムでの日本人学校や保険会社での勤務経験から、外国で働くことの楽しさや難しさ、そのために必要なスキルや心がまえなどをお話いただきました。生徒たちはグローバルな視点を再確認できたようです。

小林さんは太田プロに所属され、芸人・構成作家・執筆活動など多様なジャンルでお仕事をされ、「自分を知る」ということをテーマに、日常の可能性やふとした瞬間の積み重ねが自分を作っていくというお話をいただきました！

本校では、大学受験のその先を意識するためのキャリア教育の一環と

してこのような講演を毎年開催しています。

今日のお話によって、多くの生徒が自身のキャリアについて考える機会となりました！



チアリーディング部

Club Activity Report

部活動報告

1. 陸上競技部

①令和6年度関東高等学校陸上競技大会

男子400mH 第7位 織田大輔
男子やり投げ 出場 小西湧太郎
女子4×100mR 出場 小池寛子・竹田彩り奈・熊谷采香・渡慶次心花

②第18回U18陸上競技大会

男子300mH B決勝 第2位 織田大輔

③令和6年度 第28回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会

男子400mH 第2位 織田大輔 男子やり投げ 第5位 三野純平
女子400m 決勝進出 渡慶次心花
女子4×100mR 第8位 荻原萌・竹田彩り奈・熊谷采香・渡慶次心花



陸上競技部

2. チアリーディング部

USA Japan チアリーディング&ダンス学生新人大会 2024 EAST

高校編成Show Cheerleading部門Novice Small 第1位

3. ライフル射撃部

都高校秋季大会兼関東高校選抜大会都予選

4位 枋岡朱莉 5位 石井夢佳
上記の結果を受けて 関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会出場 枋岡朱莉



ライフル射撃部

4. ゴルフ部

・関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会 東京地区予選 Bブロック(男子個人)

山川智矢 23位 島村和真 25位
上記の結果を受けて 関東高等学校ゴルフ選手権決勝夏季大会 出場

・関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会 東京地区予選(女子個人)

下原あおい 15位
上記の結果を受けて 関東高等学校ゴルフ選手権決勝夏季大会 出場

・関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会 東京地区予選(男子団体)

島村 和真 山川 智矢 山本 和真 中畑 陽 9位
上記の結果を受けて 関東高等学校ゴルフ選手権決勝夏季大会 出場



ゴルフ部



SAKURA Café

今年度も、SAKURA Caféを定期的で開催しています。SAKURA Caféでは、ネイティブの先生と自由な会話や英語でのゲームなどを自由に楽しむことができます。今年度は、例年以上に多くの生徒たちが集まり、アクティビティを通じて英会話を楽しむ様子が見られました。今後も、皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



部活動紹介・相談会

4月8日(金)の始業式後、新入生に向けた部活動紹介が行われました。それぞれ工夫を凝らした個性溢れる紹介となっており、新入生は先輩たちの活躍に目を輝かせていました。

また、4月24日(水)・26日(金)の2日間、生徒会館1階生徒ホールにて、各部活動の代表生徒による部活動相談会が行われました。この相談会は新入生に部活動の雰囲気や活動の様子を知ってもらい、自分に合った部活動を探してもらうことをねらいとし、生徒会が中心となっており、2、3年生はiPadなどでスライ



ドや写真をうまく活用しながら紹介を行い、1年生は真剣にそれぞれの部活動の説明を聞いていました。

生徒総会

【5月】体育館にて生徒総会が行われました。

5月の生徒総会では、各委員会の代表生徒が全校生徒に対して、予算案・委員会活動方針などの様々な議題の確認を行いました。代表の生徒たちは堂々とした態度で発表を行い、すべての議事が滞りなく承認されました。

【9月】ZOOMを利用し、新しい生徒会会長と副会長候補の立会演説会が行われました。立候補者は全校生徒に対し、自身の意気込みについて堂々と演説を行ってくれました。演説終了後、生徒たちはiPadを用いて投



票を行い、見事全員が信任されていました。学校生活が更に充実するよう、活躍に期待をしています。

租税教室

6月24日(月)第2学年を対象に税について学ぶ「租税教室」を行いました。財務省主計局次長 吉野 維一郎様を講師としてお招きし、日本の行政の仕組みと財政の現状や課題についてお話をいただきました。これからの将来にも大きくかわる税について、生徒たちは真剣な眼差しで聞いていました。講演の最後には生徒か



ら質問もあり、大変貴重で有意義な時間となりました。

東京証券取引所に行ってきました

7月29日(月)希望者を対象として東京証券取引所訪問・見学会を実施しました。東京証券取引所では、実際の取引フロアを見学し、リアルタイムで行われる取引の様子を目の当たりにすることができました。さらに、投資シミュレーションも体験し、仮定の資金を用いて実際の企業の株式を選び、投資判断を行いました。

訪問・見学会を通じて、日本経済の中心地である東証



の役割や、株式市場が経済全体にどのように影響を与えるのかについて深く学ぶことができたようです！

夏期講習

【7月】夏期講習(全学年)

7月の夏期講習は学年ごとに内容が異なります。3年生は、市進予備校から講師の方を招いての特別講習、1・2年生は本校教員による夏期講習が行われました。国・数・英の各科目が基礎コースと応用コースを開講し、生徒たちはレベルに合わせたコースを受講していました。

【8月】受験対策講座(3年生)

夏休みも後半ですが、学校には多くの3年生が登校し、講座を受講しました。

9月26日(木)の基礎学力到達度テストに向け、最後の仕上げとなる講習だけあって、どの生徒も真剣な眼差しで緊張感をもって取り組んでいる様子が見られました。また、一般選抜での受験を考えている生徒向けの講習も同時に行われており、こちらも積極的に取り組んでいました。

基礎学力到達度テスト(3年生)

9月28日(木)、3年生を対象に日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テストが実施されました。今回は、3年生にとって最後の基礎学力到達度テストで、日本大学への進学に関わる大切なものです。生徒たちはこれまでの学習成果を最大限発揮し、真剣にテストに臨んでいました。

3年生の進学状況は、次回の櫻丘広報217号でお知らせする予定です。

芸術鑑賞会

11月15日(金)、芸術鑑賞会に行ってきました！

各学年で鑑賞内容は異なりましたが、どの学年の生徒たちも大迫力の舞台に釘付け。

大変素敵な時間を過ごすとともに、様々な分野に見聞を広める貴重な機会にもなりました！

～鑑賞内容～

【第1学年】劇団四季ミュージカル「ライオンキング」
(有明四季劇場)

【第2学年】舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」
(TBS赤坂ACTシアター)

【第3学年】宝塚歌劇団星組公演
政界コメディ『記憶にございません!』-トップ・シークレット-
カルナバル・ファンタジア『Tiara Azul -Destino-』
(東京宝塚劇場)



Schedule Calendar

今後の行事予定

2025

1月

- 8日(水) 始業式
- 9日(木) 3年受験対策講座(後期・30日(木)まで)
- 11日(土) ニュージーランド長期留学出発
- 18日(土) 大学入学共通テスト(19日(日)まで)
4限生徒会行事(全校清掃)
- 20日(月) 【3年生】共通テスト自己採点
- 21日(火) 短縮授業
- 22日(水) 本校推薦入試(家庭学習日)
- 24日(金) 【1・2年全員、3年希望者】午後英検



2月

- 1日(土) 【2年(Sクラス)】
4限進研模試地歴公民・理科テスト
- 6日(木) 【1年】進研記述模試
【2年(Gクラス)】日大チャレンジ模試
【2年(Sクラス)】進研共通テスト模試
- 8日(土) 短縮授業
- 10日(月) 本校一般入試[A日程](家庭学習日)
- 12日(水) 本校一般入試[B日程](家庭学習日)
- 15日(土) 【1・2年生】GPS-Academic振り返り

3月

- 1日(土) 卒業式
- 3日(月) 家庭学習日
- 4日(火) 学年末考査(7日(金)まで)
- 8日(土) 家庭学習日(10日(月)まで)
- 11日(火) 答案返却日
- 12日(水) 家庭学習日(15日(土)まで)
- 17日(月) 【1・2年生】ループリック
- 18日(火) 家庭学習日
- 19日(水) 修了式
- 21日(金) 春期講習(25日(火)まで)
【1年生Sクラス】春期講習(25日(火)まで)
- 26日(水) 春期特別講習(30日(日)まで)

予定は変更となる場合がございます。

